

# みしま女性史サークル

代表：大村 洋子

## 「アンダンテ～稲の旋律～」上映会&ミニ講演会

実施日時：平成 24 年 11 月 4 日（日）13:30～16:10

実施場所：三島市民生涯学習センター3 階 講義室

参加者：106 人

連携・協働団体：三島市中央婦人学級、自然食グループ香芽会、他

### 1. 事業目的

社会とうまく関わらず、引きこもりとなった女性が一人の農業家との交流により必死に立ち直っていく姿を描いた映画の上映とその内容に沿ったミニ講演の開催により、人と人の関わり方を通して、お互いの個性を認め合う「個人の尊重」や「男女の平等」について考える。

### 2. 事業内容

事業内容：映画「アンダンテ～稲の旋律～」上映会およびミニ講演会

実施方法：事前に入場整理券を購入して貰い、上映会とミニ講演会を行った。

整理券は 150 枚用意し、146 枚売れた。

実施日時：平成 24 年 11 月 4 日(日)13:30～16:10

実施場所：三島市民生涯学習センター 3 階講義室

対象者：一般県民、三島市民

### 3. 事業の実績

三島市民生涯学習センター 3 階講義室において、静岡県男女共同参画センター交流会議理事の石井充精様、三島市長豊岡武士様よりご挨拶いただいた後、映画「アンダンテ～稲の旋律～」上映会とミニ講演会を開催した。

入場者数：男性 10 人 女性 96 人 計 106 人

### 4. 事業の効果

映画上映に先立ち、有機野菜を栽培している高橋農園の経営者高橋久さんから「農業を体験したい人を受け入れる」というテーマで農業の現状や人との関わりをお話ししていただいた。講師は話に熱が入り、時間を大幅に超過するほどだった。

映画「アンダンテ～稲の旋律～」の主人公千華は、母親の強い希望で幼い頃から音楽の道を歩むが社会に適応できず、対人恐怖症と引きこもりになっていた。ある日やみくもに電車に乗ってたどり着いた農村で、「曲がって植えようが転んで植えようが、稲はまっすぐ上を向いて伸びるんだよ」という独自の哲学を持ち、土と共に生きる一人の農業家と出会い、徐々に生活を変化させていくというもの。

ミニ講演と映画を通して、農業体験や人との関わりが、人間が生きて行く上で、必要であるということを実感して貰えた。

平成 24 年度 地域の男女共同参画を進める事業／三島市男女共同参画推進講座

## 『アンダンテ～稲の旋律～』上映会とミニ講演会 アンケート調査結果

出席者数 106（内訳：女性 96、男性 10）うちアンケート 回答数 87（内訳：女性 81、男性 6）

### ■結果抜粋

|   | 質問項目（※主なもの）                                 | 割合     |        |        |
|---|---|--------|--------|--------|
|   |   |        | (女性)   | (男性)   |
| 1 | 「男女共同参画」という言葉を初めて聞いた人の割合                    | 13.79% | 14.81% | 0.00%  |
| 2 | 「女らしさ」「男らしさ」といった社会的・文化的・経済的につくられる性差を感じる人の割合 | 74.19% | 79.01% | 83.33% |
| 3 | 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識にとらわれない人の割合           | 32.18% | 33.33% | 16.67% |
| 4 | 男女が社会で平等になるために最も重要と思われるもの（1つ選択）             |        |        |        |
|   | ①法律や制度を見直し、性差別につながるものを改める                   | 12.64% | 13.58% | 0.00%  |
|   | ②女性を取り巻く偏見、社会通念、慣習を改める                      | 24.14% | 23.46% | 33.33% |
|   | ③女性自身が経済力や知識・技術を身につけ、力の向上を図る                | 24.14% | 24.69% | 16.67% |
|   | ④女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスを充実する                | 20.69% | 20.99% | 16.67% |
|   | ⑤政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用する         | 2.30%  | 2.47%  | 0.00%  |
| 5 | 「ワーク・ライフ・バランス」を知っている人の割合                    | 25.29% | 20.99% | 83.33% |

### ■自由意見・感想

- ・映画はとても感動した。人生にステージがそれぞれあるんだなあと思った。(30代女性)
- ・改めて自給自足の国を作っていく必要性を感じた。有機野菜がもっと手軽に手に入るようになったら良いのにと切に願います。(30代女性)
- ・とても心に響くものがありました。声をかけてくれた友人に感謝します。(40代女性)
- ・人が生きていくうえで、人とのつながりの大切さを改めて感じました。(40代女性)
- ・よい映画をみることができました。いろいろ考えさせてもらえました。高橋さんのお話、ありのままの感じで大変よかったです。映画も大変よいものでした。(50代女性)
- ・映画は大変感動しました。映画を観て何十年振りに涙が出てしまいました。(60代男性)
- ・農家の実践を通じた体験談でした。自分は非農家なので、直接参考にはならないが、一つの生き様として聞けました。(60代男性)
- ・農家から直接野菜を配達してくれるネットワークがあることを初めて知った。(60代女性)
- ・始めの講演が良い題目でした。テーマをもっと絞って話されたらもっといいと思いました。映画は楽しく、農業のあり方に同感しました。(60代女性)

みしま女性史サークル映画上映会「アンダンテ～稲の旋律～」

平成 24 年 11 月 4 日(日) 生涯学習センター講義室



受付の様子



司会の大村洋子さん



三島市長挨拶



あざれあ石井理事挨拶



会場の様子



講師の高橋久さん

# 映画 アンダンテ

## ～ 稲の旋律～

新妻聖子 寛 利夫 秋本奈緒美 宇都宮雅代 村野武範 正司照枝 松方弘樹

原作 旭爪あかね 監督 金田 敬 上映時間 108分 <http://www.ggvp.net/andante/>

### 食と農と大地、そして人間再生の物語

～曲がって植えようが転んで植えようが、稲は上を向いてのびるんだよ～

主人公「千華」は母親の強い希望で幼い頃から音楽の道を歩むが、音楽社会の競争は厳しく次第に自信を失くしていき、やがて自分自身をも見失い登校拒否となり、大学中退を余儀なくされる。その後、アルバイト生活に入るが人間関係がうまく作れず、とうとう1日中家に閉じ困るようになる。

対人恐怖症と引きこもりからぬけ出し、新たな自立の道を懸命に模索する主人公千華。そして、厳しい農業の傍ら食と農業問題に独自の道を持ち土と共に生きる晋平。

旭爪あかねが、かつての自分と同じように苦しんでいる人たちに「苦しんでいるのはあなただけじゃないよ」と伝えたい思いで書いた小説が原作。



2012年11月4日(日) 13時30分(開場13時)

会場 三島市民生涯学習センター 3階 講義室

★ 入場整理券(500円)が必要です。

主催: みしま女性史サークル (問い合わせ: 大村 TEL・FAX 055-975-6516)  
共催: 静岡県男女共同参画センター交流会議  
三島市